

MACHINE-MADE AURA

Joint
Exhibition

Artists

Studio Brasch

Tù.úk'z

Felipe Filgueiras

Jenni Pasanen

Nic Hamilton

7月11日(木) - 8月3日(日) 2024年

場所 / K Art Gallery

Artwork Sales:

- Online sales (on Foundation / July)

- Physical pieces (high-resolution printing, RGB printing, etc.)

【展示開催のお知らせ】

2024年7月11日(木)から8月3日(日)、K Art Galleryにて、グループ展“MACHINE-MADE AURA”を開催いたします。

【概要】

「Machine-made Aura」展は、テクノロジーが大きな力を持つようになった現代において、その影響がどのような新しい創造性を導くのかを探求するグループ展です。

人間が「道具」を発明して以来、芸術のあり方もその影響を受けて大きく変貌してきました。そしてAIの登場によって、私たちの持つ創造性の領域すらも、機械によって担われつつあります。この展示では、その人間と機械の新しい共生関係が創り出した独特の美学に焦点を当てます。そして人間とマシンの融合が導く新しい芸術形式、その創造的思考のあり方について思考を巡らします。アーティストとの相互作用により機械がどのように世界を認識するのか。あるいは機械によって生み出されたイメージの無限の並行宇宙から、アーティストは何を発掘するのか。この領域に花開いたさまざまな方法論と生み出された作品を通じて、未来の芸術が放つ魅力とその多様なアウラのあり方に触れていただければ幸いです。

Guest Curator profile

庄野祐輔 Yusuke Shono <https://themassage.jp/>

オンラインメディア『MESSAGE MAGAZINE』の発行人。2010年代からインターネットカルチャーに注目し、さまざまなアンダーグラウンドな出来事をアーカイブし、共有してきた。2001年にせんだいメディアテークで開催された「Movement」展、実験的なグラフィックカルチャーを紹介したラフォーレ原宿での「RGB」展、ブロックチェーン・アートをメディアとして取り上げた2022年の「Proof of X」展などのキュレーションを手がける。



- 展覧会情報 -

期間：2024年7月11日(木) - 8月3日(日)

会場：K Art Gallery

(東京都港区北青山3丁目7-5)

時間：12:00 ~ 18:00 月曜、火曜休館

- オープニングレセプション -

2024年7月12日(金)

17:00-21:00 *どなたでもご参加いただけます



NFT on Foundation

オンラインでは、Foundationにて
7月19日より販売予定。



お問い合わせ：K Art Gallery Tel: 03-6450-6132

Web: <https://www.k-art-tokyo.com>

Mail: info@k-art-tokyo.com



HP

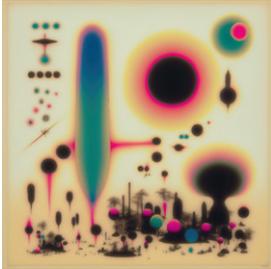


MAP

MACHINE-MADE AURA

Joint
Exhibition

Artists Profile

<p>Studio Brasch</p>	<p>スタジオ・ブラッシュとしても知られるアンダース・ブラッシュ＝ウィルムセンは、数十年の経験を持つアーティストであり、クライアント、コレクター、鑑賞者のためにアート制作している。自然は常に私たちの生活と幸福を形作る上で重要な役割を果たしてきたが、アンダースの関心は、私たちがテクノロジーとますます融合していく中で、それが何を意味するかにある。彼は、3D、そして最近ではAIを媒体として、芸術的な問い合わせを作成し、想像の世界を描いている。</p>	
<p>Tù.úk'z</p>	<p>2012年からTù.úk'zとして活動するアーティスト。</p>	
<p>Felipe Filgueiras</p>	<p>ブラジル出身のアーティスト。異次元の旅人。周波数の一形態として視覚性を操作することに興味があり、超宇宙的な未知の世界の内側にチャネリングする。エイリアン観察者、視覚研究者、テコンマンサー。Nature.influxer。テレキネティック・リーダー。</p>	
<p>Jenni Pasanen</p>	<p>ジェニ・パサネン (1993年生まれ) は、人工知能とデジタル・ペインティングを融合させた革新的な作品で知られるミクストメディア・アーティスト。AIが生成したイメージとデジタル技術を組み合わせた彼女のユニークなアプローチは、デジタルアートを再定義し、人間の創造性と機械知能の融合を示している。彼女の芸術の旅は早くから始まり、芸術におけるAIの可能性を深く発見するに至った。ジェニは様々なテクニックをミックスした独特のスタイルを作り上げ、パリ、ニューヨーク、ドバイを含む30以上の国際的な展覧会で紹介されてきた。これらの展覧会は、彼女の芸術的才能を示すだけでなく、デジタル・アートの物語を形成する役割も果たしている。アートの提唱者であるジェニの影響力は、彼女の作品の枠を超えている。彼女の洞察や経験は、スピーチやインタビューに表れており、ソーシャルメディア上で14万人以上のフォロワーを魅了している。</p>	
<p>Nic Hamilton</p>	<p>元々は建築家としての訓練を受け、メルボルンを拠点とするイメージメーカーであり、グラフィックデザインの領域で多作に働いてきた。ハミルトンのビジュアルは、深い質感、温度、そして最も明らかに時間の経過を呼び起こします。もちろん、写真や彫刻の分野にまたがるアーティストたちは、構造物や崖の側面などに対するこの元素の腐食作用を精査してきました。</p>	